

めりカフェ出張編

抹消の痕跡をたどる——ルネサンス美術における上塗りノンフィニートと未完成

古川 萌

京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程

日本学術振興会特別研究員 (DC1)

✉ english.is.gleat@gmail.com

はじめに

- * 16世紀の美術制作環境
 - ▶ 基本的に注文制作
- * ペトラルカ的な「死」と「名声」の関係
 - ▶ 愛 → 貞節(純潔) → 死 → 名声 → 時 → 永遠(神)
- * ジョルジョ・ヴァザーリ『芸術家列伝』の性格
- * 「抹消」によって隠されたものと見えるようになったもの

1. 上塗り

i. 検閲

- * 宗教的検閲：ミケランジェロ・ブオナローティ《最後の審判》と「適切さ」
 - ▶ 表現と場の関係：文筆家ピエトロ・アレティーノからの激しい批判
 - ▶ 教皇パウルス四世による手直しの要求→破壊の予定
 - ▶ 画家ダニエレ・ダ・ヴォルテッラによる介入
裸体への腰布の加筆など
 - ▶ 加筆の是非：作品に対する損害か、救済か
画家ポントルモによるサン・ロレンツォ聖堂壁画の例
- * 政治的検閲：パラッツォ・ヴェッキオ内「五百人広間」とヴァザーリ
 - ▶ フィレンツェ共和国時代の壁画競作プロジェクト
レオナルド・ダ・ヴィンチ《アンギアーリの戦い》と
ミケランジェロによる《カッシナの戦い》
 - ▶ コジモー世フィレンツェ公即位後のヴァザーリによるパラッツォ・ヴェッキオ改築
 - ▶ 五百人広間の壁画主題は《対シエナ戦》および《対ピサ戦》へ
 - ▶ 君主国から見た共和国
「共和国の延長線上にあるけれども、つねに共和国より優れている」状態

ii. 塗りつぶし

- ★ ラファエッロ《大公の聖母》の背景
 - ▶ X線調査により、黒い背景は後世の上塗りであることが判明
 - ▶ 下に描かれている背景は下描き段階→もともと未完成作品だった可能性
 - ▶ 未完成部分を補うための塗りつぶし？
- ★ フラ・バルトロメオ《ピエタ》の背景
 - ▶ もともとの背景は17世紀に黒く塗りつぶされたうえ、絵そのものも切断された
 - ▶ 近年の修復で加筆部分が除去され、当初の背景が露わに
- ★ 「改良」と「修復」
 - ▶ 17～18世紀に頻繁におこなわれた加筆は、当時の「修復」であり「改良」
 - ▶ 加筆を取り除くと作品として鑑賞しにくくなる場合も

II. ^{ノンフィニート} 未完成

- ★ ルネサンス美術においては、基本的に「未完成」は許されない
 - ▶ なんらかの理由で制作が中断された場合、ほかの制作者に引き継がれる

i. レオナルドの未完成

- ★ 足してゆく制作
 - ▶ 完成作のイメージに近づけていくため、必要なところを描き足す
 - ▶ 思い描いている完成作に到達できないため未完成となる
- ★ 《モナ・リザ》：生涯手元に置き、手を入れ続けたといわれる絵
 - ▶ 《アイルワースのモナ・リザ》との比較
 - ▶ アップデートを繰り返すことで、それまでの過程を抹消していく

ii. ミケランジェロの未完成

- ★ 削ってゆく制作
 - ▶ 石のなかの「アイデア」を解放するため、いらないところを取り除く
 - ▶ 「アイデア」を掘り起こし損ねた場合、そこで作品は放棄される
 - ▶ 好意的な評価
ヴァザーリ「ミケランジェロ彫刻の不完全(imperfezione)な部分にこそ完全(perfezione)を見ることができる」
ベネデット・ヴァルキ「ミケランジェロの未完成品はほかの芸術家の完成品より完全だ」
- ★ 作品の破壊
 - ▶ 放棄された作品はミケランジェロ自身による破壊の対象になることも
 - ▶ 意図的な破壊？ 《バツカス》の右腕

おわりに

- * 作品の不安定な状態
 - ▶ 時代の要請や所有者の好みによって、容易にその姿を変える
- * いま見ている作品も、未来の鑑賞者がまったく同じ条件で見るとは限らない
- * 抹消によって可視化されるもの

主な参考文献

※翻訳のあるものを中心に、質疑応答で参考にした文献も加えています。

【一次資料】

- VASARI, Giorgio. *Le Vite de' Più Eccellenti Pittori, Scultori, e Architettori*, a cura di Gaetano Milanesi, Firenze: Sansoni, 1878-85 [Firenze: Giunti, 1568]. [ジョルジョ・ヴァザーリ『ルネサンス画人伝』平川祐弘・小谷年司・田中英道訳、1982年『ルネサンス彫刻家建築家列伝』森田義之監訳、1988年『続ルネサンス画人伝』平川祐弘・仙北谷茅戸・小谷年司訳、1995年、いずれも白水社]
- , *Le Vite de' Più Eccellenti Pittori Scultori e Architettori: nelle Redazioni del 1550 e 1568*, a cura di Rosanna Bettarini e Paola Barocchi, Firenze: Sansoni, 1966.
- , *La Vita di Michelangelo nelle Redazioni del 1550 e del 1568*, a cura di Paola Barocchi, Milano: Ricciardi, 1962.
- DOLCE, Lodovico. *Dialogo della pittura di M. Lodovico Dolce, intitolato l'Aretino*. Venezia: Gabriele Giolito de' Ferrari, 1565 [ロドヴィーコ・ドルチェ『アレティーノまたは絵画問答——ヴェネツィア・ルネサンスの絵画論』森田義之・越川倫明訳、中央公論美術出版、2006年] .
- GIUNTI, Jacopo. *Esequie del Divin Michelagnolo Buonarroti, Celebrate in Firenze dall'Accademia de Pittori, Scultori & Architettori nella Chiesa di S. Lorenzo il Di 28 Giugno 1564*, Firenze: Giunti, 1564. (Rudolf Wittkower, and Margot Wittkower, *The Divine Michelangelo: The Florentine Academy's Homage on His Death in 1564*, London: Phaidon, 1964.)

【二次資料】

- BAILEY, Gauvin Alexander. "Santi di Tito and the Florentine Academy: "Solomon Building the Temple" in the Capitolo of the Accademia del Disegno (1570-71)" , *Apollo*, No. 155, 2002, pp. 31-39.
- BARKAN, Leonard. *Unearthing the Past: Archaeology and Aesthetics in the Making of Renaissance Culture*. New Haven and London: Yale University Press, 2001.
- BAROLSKY, Paul. *The Faun in the Garden*. Pennsylvania: The Pennsylvania University Press, 1994 [ポール・バロルスキー『庭園の牧神——ミケランジェロとイタリア・ルネサンスの詩的起源』尾崎彰宏訳、法政大学出版局、2001年] .
- CONTI, Alessandro. *Manuale di Restauro*. Torino: Einaudi, 1996 [アレッサンドロ・コンティ『修復の鑑——交差する美学と歴史と思想』岡田温司・水野千依・松原知生・喜多村明里・金井直訳、ありな書房、2002年] .
- LEBENSZTEJN, Jean-Claude. "Mauvais lieu", *Déplacements*. Dijon: Les Presses du Réel, 2012 [ジャン＝クロード・レーベンシュテイン「場違い」水野千依訳、『西洋美術研究 No.16 特集：美術と検閲』、三元社、2012年] .

PADOVANI, Serena, e Marco CIATTI. *Fra Bartolomeo: La Pietà di Pitti restaurata*. Firenze: Centro Di, 1988.

STOICHITA, Victor I.. *The Self-Aware Image: An Insight into Early Modern Meta-Painting*. New York: Cambridge University Press, 1997〔ヴィクトル・I・ストイキツァ『絵画の自意識——初期近代におけるタブローの誕生』岡田温司・松原知生訳、ありな書房、2001年〕。

岡田温司『ミメシスを超えて——美術史の無意識を問う』、勁草書房、2000年。

京都近代国立美術館／東京都美術館編『ボルゲーゼ美術館展』、展覧会カタログ、NHK プロモーション、2009年。

越川倫明・松浦弘明・甲斐教行・深田麻里亜『システイーナ礼拝堂を読む』、河出書房新社、2013年。

田口かおり「近代イタリア修復学と《マドンナ・ピカソ》——1972年「フィレンツェ・レスタウラ（フィレンツェは、修復する）」展を中心に」、『ディアファネース』、第一号、pp. 85-111, 2014年。

国立西洋美術館編『ラファエロ』、展覧会カタログ、読売新聞東京本社、2013年。